

3. 目標に準拠した評価の進め方と障害への配慮

1) 盲・聾・養護学校における多様な教育課程の編成

平成11年3月の新学習指導要領の改訂に伴い、基礎・基本の確かな定着、基礎学力の向上等を図るため、児童生徒の学習評価に関して、目標に準拠した評価（いわゆる絶対評価）と個人内評価の実践が求められることとなった。

盲・聾・養護学校においては、個々の児童生徒の障害の状態が異なるとともに、学習に対する興味・関心についても、障害のない子どもと同様に多様である。こうした個々の様々な実態を的確に把握して、それぞれのニーズに即して適切な教育を進めていく必要がある。したがって、個々の子どもたちの実態に即して多様な教育課程の編成が行われている。例えば、小・中学校等の各教科等に準じて教育課程を編成している場合、小・中学校等の各教科等とは目標・内容等が異なる知的障害養護学校の各教科を用いて教育課程を編成している場合、障害が重度・重複化しているため、各教科等の学習に困難さが予想される時には、盲・聾・養護学校独自の指導領域である自立活動を中心とした教育課程を編成している場合などである。

このように、盲・聾・養護学校の場合には、種々の教育課程編成上の特例が設けられていることに留意して、評価を考えていく必要がある。

2) 盲・聾・養護学校における評価の進め方

a 小・中学校等の各教科等に準じた指導を行っている場合

盲・聾・養護学校において、小・中学校等の各教科等に準じた指導を行っている場合には、小・中学校の学習指導要領に示された各教科等の目標・内容あるいは単元や題材ごとに、「関心・意欲・態度」、「思考・判断」、「技能、表現」、「知識、理解」の観点別に、評価規準の内容を具体的に設定した上で評価を進めることになる。

目標に準拠した評価（いわゆる絶対評価）の手続きについては、国立教育政策研究所が作成した「評価規準・評価方法等の研究開発」を参考にして、次の手順を進めていくことになる。

7) 第一段階

小学校学習指導要領に示された教科及び教科目標に基づき、評価の観点を明確にする必要がある。例えば、国語科については、教科目標が、「国語を適切

に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力及び言語感覚を養い、国語に対する関心を高め国語を尊重する態度を育てる。」となっていることから、平成13年4月27日付けの「指導要録の改善に関する通知」において、①国語への関心・意欲・態度、②話す・聞く能力、③書く能力、④読む能力、⑤言語についての知識・理解・技能の5つの評価の観点が明らかにされた。さらに、同通知において、これらの観点を設けるに当たっての趣旨が説明されている。例えば、「④読む能力」の趣旨については、「④目的に応じて読み取ったり読書に親しんだりする。」と述べられており、小学校段階の子どもであれば、それぞれの成長発達を踏まえ、各学年等の教科目標に対して、どの程度まで達成されたかを絶対評価する形での評価を展開する必要があるという趣旨に解釈できる。

1) 第二段階

学年目標・内容等に基づいて、具体的な評価規準を作成していくことになる。

まず、小学校学習指導要領の学年目標を踏まえる必要がある。国語科の場合、「第1学年及び第2学年」の「学年目標」というように、二学年まとめて3項目が示されている。読むことに関しては、「(3) 書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読むことができるようにするとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。」と掲げられている。この学年目標に基づく「学年の評価の観点の趣旨」は、前述の「指導要録の改善に関する通知」に示されている。

同様に「読むこと」に関する観点の趣旨は、「④書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読む。」となっている。以上が、目標に準拠して指導及び評価の観点を具体化する際の筋道である。

さらに、小学校学習指導要領には、「目標」に従って指導すべき「内容」が示されており、国語科に関しては、「第1学年及び第2学年」の「内容」として、AからCまで三項目に分けて示してある。「C読むこと」については、「易しい読み物に興味をもち、読むこと」、あるいは「時間的な順序、事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと」、「・・・想像を広げながら読むこと」、「・・・考えながら声に出して読むこと」が掲げられている。

これらをより具体化し、評価の際の客観性を保つため、内容のまとめりごとの評価規準が、前述した国立教育政策研究所作成の「評価規準、評価方法等の研究開発」にまとめられている。

「読む能力」については、例えば「自ら気に入っ

た易しい読み物を読んでいる。」「時間や事柄などの順序に着目し、内容の大体を読んでいる。」などである。それを実際の指導との関連で具体化し、例えば「読み聞かせを聞いたり紹介されたりした易しい読み物を楽しんで読んでいる。」「入門期では、挿絵や写真などを見て想像を膨らませたり、順序を追って読んだりしている。」「物語の場面が時間の順序によってつながっていることに気づき、内容の大体を読んでいる。」などと、児童の学習状況を評価する際の視点をより具体的に表現し、達成されたか否かを明らかにするための手順が示されている。

ウ) 第三段階

次には、指導する单元ごとに評価の手順を工夫していくことになる。学習指導要領の内容に基づいて、その单元での指導目標を設定し、観点別に单元の評価規準を設けることになる。その際には、具体的な評価方法も合わせて考えておく必要がある。

そして、どのような状況が見受けられた場合にそれを「十分満足できる状況」と判断するかという具体的なイメージを描いておく必要がある。

エ) 評定

各教科の評価においては、総合的な評価として評定を行う必要がある。今回の改訂においては、小学部の第3学年以上は3段階で、中学部の必修教科は5段階、選択教科は3段階で実施することになっている。

観点別学習状況の評価をどのように総合化して評定にまとめるかについても、国立教育政策研究所の報告書に例が示されている。このように評価を進めてくるとなると、目標に準拠して設定する観点別の評価規準の内容がどのようなものが重要になる。盲・聾・養護学校の場合には障害に対する配慮等をどのように観点別の評価規準に加味するかが工夫のしどころである。

オ) 障害への配慮

盲・聾・養護学校での教育を考えていく場合、障害に基づく学習の困難な側面、あるいは特に必要とされる努力等をどのように評価に反映させるかが課題である。

障害に基づく学習困難な内容、例えば、聾学校における理科の音に関する題材、あるいは盲学校における色に関する題材等は、盲・聾・養護学校の学習指導要領において、教育課程編成上、特に扱わないことも可能となるような特例が設けられている。従って、こうした教育課程を編成した場合には、観点別の評価においても、例えば、知識・技能において、前述の一部を欠いた教科内容を踏まえた評価規準を

作成することができる。

しかし、小学校と同様の目標、内容を扱う場合には、国立教育政策研究所で作成した評価規準を参考として、各学校での工夫の下により具体的な評価規準を作成することになる。

関心・意欲・態度の観点において、障害特性を配慮して、目標に準拠した評価規準の具体的な表現を工夫することが大切である。

知識・理解の観点においては、障害に基づく困難を改善・克服しようとする姿勢をどのように表現するかに難しさがある。

イ) 自立活動を中心とした指導の場合

新学習指導要領において、自立活動の指導に当たっては、個別の指導計画を作成することとされている。従って、自立活動の指導を行う際には、個別の適切な実態把握、指導目標の設定と指導内容の選定、学習活動の展開、指導の評価等に当たって、個別の指導計画を活用することが大切である。

評価については、指導目標に従い、その到達状況について、個々の実態や特性等に応じて、具体的な評価規準の作成が求められる。教科学習とは目標設定が個人の目指すべき到達目標となることから、質的に異なるが、具体的な表現をするという意味では同様である。また、これは個人内目標でもある。個々の取り組みの状況により、細かなステップで刻まれた目標設定であり、個々の努力の状況により、到達度が適切に評価される必要がある。

自立活動の指導においては、指導内容にもよるが、おおむね個人別に目標設定がなされ、それに対してどこまで目標が達成されたか、それに目標達成に向けてどのような意欲、態度、姿勢で取り組んだかが評価の対象ともなる。

このように考えてくると、いわゆる絶対評価の要素と観点別の個人内評価の両面を統合した評価が必要になると考えられる。

ロ) 知的障害養護学校の各教科を用いて指導を行っている場合

知的障害養護学校の教科を用いて指導している場合は、盲・聾・養護学校の学習指導要領に示されている知的障害養護学校の教科の目標に基づき、評価規準を作成することになるが、学習活動を加味したより具体的な評価規準の作成が求められる。その際、関心・意欲・態度、知識・技能などの評価の観点をどのように工夫するかという点が課題である。

思考・判断についても、学習活動を工夫する際に、個々の子どもに対応して様々な場面を想定することになる訳であるから、その際に、当然生活場面での

思考・判断を評価対象とする機会があるものと推測される。

評価規準の作成により、子どもの学習状況を単に量的側面からのみにとどまらず、質的側面からより具体的、客観的にとらえ、基礎・基本の確実な定着を図ること、生きる力の伸長へとその発展を期待することなどの趣旨から、知的障害養護学校の教科を用いて、領域・教科を合わせた授業を展開する場合などにも、評価規準による評価の試みを意図してみることが大切である。

(穴戸 和成)

3) 知的障害養護学校における各教科の評価の在り方について

知的障害養護学校の各教科の評価の在り方について、個別の指導計画に基づく評価、各教科の具体的な内容と評価の観点、領域・教科を合わせた指導における評価の3つの事柄から論述し、課題を整理する。

(1) 個別の指導計画に基づく評価

指導と評価とは表裏一体の関係にあり、学校の教育活動における評価は、教育活動を充実させ、児童生徒一人一人のより豊かな生活の実現を図るために行われるものである。

児童生徒の学習の状況の評価として、一人一人の指導目標の達成状況をとらえることは、同時に指導内容や方法が適切であったかどうか、指導目標を設定する際の出発点となった実態把握が適切になされていたのか、ということの評価することになる。いわゆるP D C A (Plan-Do-Check-Action) サイクルの確立である。

このP D C Aサイクルの確立の具体として、個別の指導計画の作成・活用がある。例えば、新潟大学教育人間科学部附属養護学校¹⁾では、長期サイクルと短期サイクルで構成された個別の指導計画の作成・活用システムの充実を目指した研究が推進されている。長期サイクルは、①情報収集・複数の教師による分析、②具体的な指導目標、支援計画の立案、保護者への提示、③授業実践、④指導目標、授業実践の総括的評価、の流れで構成され、短期サイクルは、長期サイクルの③の授業実践の中でのP D C Aサイクルとして整理されている。また、宮崎県立宮崎南養護学校²⁾でも、前期・後期に分けて作成・評価する個別の指導計画の作成の各段階(実態把握、計画作成、具体的実践、評価)でそれぞれの妥当性を検証する流れを整理し、「複数教師による検討」と「保護者との共通理解」をスケジュール化した評価システムを提案・実施している。

従って、個別の指導計画に基づく評価とは、個別の指導計画の作成の各段階における評価、長期サイクルにおける指導目標、授業実践の総括的評価、日々の授業における学習状況の評価を指す場合があると考えられる。

後述するように、知的障害養護学校では、児童生徒の障害の状態等に応じて、個別に各教科の具体的な目標と指導内容を設定することになっており、実質的には、個別の指導計画に基づく評価となる。つまり、長期サイクルにおける指導目標、授業実践の総括的評価、日々の授業における学習状況の評価となり、個別の指導計画で設定した指導目標と指導内容についての学習状況の評価することになる。

(2) 各教科の具体的な内容と評価の観点

知的障害養護学校の各教科の内容について、盲学校、聾学校及び養護学校学習指導要領(平成11年3月)³⁾の総則に「知的障害者を教育する養護学校においては、各教科(小学部においては各教科の各段階)に示す内容を基に、児童又は生徒の知的発達の遅滞の状態や経験等に応じて、具体的に指導内容を設定するものとする」と述べられている。また、同様なことが盲学校、聾学校及び養護学校学習指導要領(平成11年3月)解説-各教科、道徳、特別活動編⁴⁾(以下、解説書とする。)367頁に「各学校が指導計画を作成する際には、児童生徒の障害の状態等、学校や地域の実態に即して、各教科の内容を具体化し、指導内容を設定する必要がある」と述べられている。つまり、児童生徒の障害の状態等に応じて、個別に各教科の具体的な指導内容を設定することになる。従って、各教科の評価は、個別に設定された指導目標と具体的な指導内容に基づき、学習の状況を「児童生徒の学習活動の様子(意欲・関心・態度)」、「学習により児童生徒が身に付けたこと(知識・理解、技能・表現)」、「指導の成果が日常生活に見られる(日常生活での実現化)」等の観点からとらえることになる。

各教科の評価の観点は、解説書の各教科の「内容構成の考え方」に示されている教科の内容構成の観点ごとに設定することが考えられる。例えば、小学部の生活科では、解説書380頁に論述されている「内容構成の考え方」に、「基本的生活習慣」「健康・安全」「遊び」「交際」「役割」「手伝い・仕事」「きまり」「金銭」「自然」「社会の仕組み」「公共施設」の11の内容の観点が示されている。また、小学部の国語科については、解説書409頁に「聞く・話す」「読む」「書く」の3つの内容の観点が示されている。各教科の内容構成の観点を表1～表3に示す。

表1 小学部の各教科の内容構成

教科名	内容構成の考え方（観点）
生活科	「基本的生活習慣」「健康・安全」「遊び」「交際」「役割」「手伝い・仕事」「きまり」「金銭」「自然」「社会の仕組み」「公共施設」
国語科	「聞く・話す」「読む」「書く」
算数科	「数量の基礎、数と計算」「量と測定」「図形・数量関係」「実務」
音楽科	「音楽遊び」「鑑賞」「身体表現」「器楽」「歌唱」
図画工作科	「表現」「材料・用具」「鑑賞」
体育科	「基本の運動」「運動遊び」「いろいろな運動」「きまり・安全」

表2 中学部の各教科の内容構成

教科名	内容構成の考え方（観点）
国語科	「聞く・話す」「読む」「書く」
社会科	「集団生活ときまり」「公共施設」「社会のできごと」「地域の様子や社会の変化」「外国の様子」
数学科	「数と計算」「量と測定」「図形・数量関係」「実務」
理科	「人体」「生物」「事物や機械」「自然」
音楽科	「鑑賞」「身体表現」「器楽」「歌唱」
美術科	「表現」「材料・用具」「鑑賞」
保健体育科	「いろいろな運動」「きまり」「保健」
職業・家庭科	「働くことの意義」「職業に関する基礎的な知識」「道具や機械」「役割」「産業現場等における実習」「家庭の役割」「家庭に関する基礎的な事項」「情報」「余暇」
外国語科	「英語への興味や関心」「英語の表現への興味や関心」「英語での表現」

表3 高等部の各教科の内容構成

教科名	内容構成の考え方（観点）
国語科	「聞く・話す」「読む」「書く」
社会科	「集団生活と役割・責任」「きまり」「公共施設」「社会的事象」「我が国の地理・歴史」「外国の様子」
数学科	「数と計算」「量と測定」「図形・数量関係」「実務」
理科	「人体」「生物」「事物や機械」「自然」
音楽科	「鑑賞」「身体表現」「器楽」「歌唱」
美術科	「表現」「材料・用具」「鑑賞」
保健体育科	「いろいろな運動」「きまり」「保健」
職業科	「働くことの意義」「道具や機械」「職業に関する知識」「産業現場等における実習」「健康管理・余暇」「機械・情報機器」
家庭科	「家庭の役割」「消費と余暇」「家庭に関する事項」「保育・看護」「道具や器具」
外国語科	「会話」「読む・書く」「語や句の意味」
情報科	「情報やコンピュータなどの役割」「機器の操作」「ソフトウェアの操作と活用」「通信」「情報の取扱い」
家政科	「実習への参加」「知識と技術の習得」「器具や機械等の操作」「家庭に関する各分野」
農業科	「実習への参加」「知識と技術の習得」「機具や機械等の操作」「農業に関する各分野」
工業科	「実習への参加」「知識と技術の習得」「工具や機械等の操作」「工業に関する各分野」
流通・サービス科	「実習への参加」「知識と技術の習得」「機器や機械等の操作」「流通・サービスに関する各分野」

表4 国語科の評価の観点の趣旨（宮崎県立宮崎南養護学校）

日常生活に必要な国語への関心・意欲・態度	日常生活に必要な国語の表現	日常生活に必要な国語の理解
日常生活において、話をしたり、意思を伝えようとするなど、国語を使って積極的表現しようとする。	日常生活を送る上で、国語を表現する能力や国語を使って様々な事柄を表現することができる。	生活に身近な人やものの名前、動作や状態、感情を表す言葉を理解し、聞く・話す、読む・書くことを理解し、これらを日常生活の中で生かすことができる。

評価の観点を、これらの教科の内容構成の観点ごとに設定するというのは、例えば、生活科の「基本的生活習慣」の内容において考えてみると、4つの評価の観点を設定することが考えられる。一つは、「自ら身近生活の処理の活動に取り組む（意欲・関心・態度）」、二つは、「日常生活に必要な身近生活の処理について理解する（知識・理解）」三つは、「日常生活に必要な身近生活の処理ができる（技能）」、そして、四つは、「指導の成果が日常生活に見られる（日常生活での実現化）」である。

この4つの評価の観点から、児童生徒の学習の状況をとらえると、次のような評価の例が考えられる。

「自ら身近生活の処理の活動に取り組む」（意欲・関心・態度）の観点からの評価の例として、「着脱しやすい服や靴をひとりで着脱し、ロッカーに整理しようとする」、或いは、「スプーンやフォークを使って、ひとりでこぼさないで食べようとする」という評価内容が考えられる。

「日常生活に必要な身近生活の処理について理解する」（知識・理解）の観点からの評価の例として、「食事の準備や後片付けが必要なことがわかり、それらに取り組める」という評価内容が考えられる。

「日常生活に必要な身近生活の処理ができる」（技能）の観点からの評価の例としては、「言葉掛けにより、手足や衣服の汚れに気付き、洗ったり拭いたりすることができる」という評価内容が考えられる。

「指導の成果が日常生活に見られる（日常生活での実現化）」の観点からの評価の例としては、「自分の服装の乱れに気付き、鏡の前で整えようとする事ができる」、或いは、「簡単な食事の準備や後片付けがひとりでできる」という評価内容が考えられる。

実際の指導では、評価の観点を一人一人の具体的な指導内容に照らして設定していくことになるので、各教科の指導内容の具体例が参考として示されることが望ましいと考えられる。各教科の指導内容の具体例を資料として掲載するので参考にしていただければ幸いである。この資料は、「新しい教育課程と学習活動Q & A」（全国知的障害養護学校長会編著）の

資料をもとに、協力者等の協力を得て、加筆・修正したものである。

また、前述の平成14・15年度文部科学省特殊教育研究協力校である宮崎県立宮崎南養護学校²⁾では、知的障害養護学校における観点別評価の規準例を整理している。例えば、国語科の評価の観点及びその趣旨として、表4のように示されている。この整理では「理解」の観点に「指導の成果が日常生活に見られる（日常生活での実現化）」の観点が含まれていると考えられる。

(3) 領域・教科を合わせた指導における評価

知的障害養護学校では、多くの場合、各教科の内容を領域・教科を合わせた指導の形態により指導している。例えば、生活単元学習で宿泊学習を指導した場合、この単元で学習する内容としては、生活科の内容である「基本的生活習慣」の内容（「食事」、「用便」、「寝起き」、「清潔」、「身のまわりの整理」）、「役割」の内容（「共同の作業と役割分担」）、「金銭」の内容（「買い物」）、「社会の仕組み」の内容（「いろいろな店」、「社会の様子」）、「公共施設」の内容（「交通機関の利用」）、国語科の内容である「聞く・話す」の内容（「人の話の内容のあらましの理解」、「経験を話す」）、「読む」の内容（「文字への関心」、「語句の読み」）…等の各教科の内容が位置づけられる。

留意したいのは、これらの内容を指導するために、生活単元学習として指導を展開するのではなく、宿泊学習の様々な活動を通して、これらの内容を学習し身に付けることができると考える方が正しいと考えられることである。つまり、領域・教科を合わせた指導においても、学習活動の結果として、学習指導要領に示される各教科等の目標や内容に基づいた指導内容が学習されることになる。従って、領域・教科を合わせた指導における評価においても、個別の指導計画に基づき設定された指導目標と具体的な指導内容の学習の状況を「児童生徒の学習活動の様子（意欲・関心・態度）」、「学習により児童生徒が身に付けたこと（知識・理解、技能・表現）」、「指導の成果が日常生活に見られる（日常生活での実現化）」

等の観点からとらえることは可能である。

しかし、生活単元学習等のいわゆる領域・教科を合わせた指導では、単元に含まれる内容を各教科の枠でとらえるよりも、「自立につながる力等の構成要素等の括り」により整理する方が、生きる力を育む

指導と評価に結びつきやすいと考えられる。つまり、現行の教育課程の考え方で説明すると、教育課程を編成する各教科の内容を、一旦、「自立につながる力等の構成要素等の括り」により整理しなおし、年間指導計画や単元構成においてそれらの内容を位置づ

表5 将来につながる経験内容表（北九州市立八幡西養護学校）

領域	小学部	中学部	高等部
身近な人との接し方	身近な人たちとのかかわり、遊びのルール、あいさつ	地域の人たちとのかかわり、あいさつ、身だしなみ	地域への参加、交際、身だしなみ
公共物の利用	交通機関の利用、公共施設の利用	交通機関の利用、公共施設の利用	交通機関の利用、役所や公共施設の利用
生活と消費	買い物	買い物	買い物、金銭管理、娯楽施設の利用
情報の伝達	手紙、電話の利用	手紙、電話、ファクスの利用	手紙、電話、ファクスの利用
季節と生活	季節の変化と生活	季節の変化と生活	季節の変化と生活
家庭の仕事	簡単な調理、掃除、洗濯	簡単な調理、掃除、洗濯	簡単な調理、掃除、洗濯

表6 自立につながる力の内容表（新潟大学教育人間科学部附属養護学校）

観 点	内 容
豊かな情操で意欲的に生活する力【豊かな心】	興味・関心を持つ、豊かに感じたり表現したりする、目的・見通しを持つ、向上心を持つ、穏やかに過ごす
安全に気を付け、健康な体で生活する力【健康な体】	体を動かす、体を清潔にする、健康に気を付ける、安全に気を付ける
日常生活動作を自分で行う力【日常の生活動作】	食事をする、排泄をする、身なりを整える、整理・整頓をする、形・色・文字・記号・数などを活用する
周囲の人と意思を伝え合う力【コミュニケーション】	自分の意思を表現する、他者の意思を理解する
周囲の人と円滑にかかわる力【集団生活】	人に関心を示したり親しみを感じたりする、集団活動に参加する、協力する、決まりやマナーを守る、周りの人に気を配る
地域・経済にかかわる生活に必要な力【地域資源の利用】	お金を大切に扱う、いろいろな施設などを利用する、身近な交通機関を利用する
生活を楽しむ力【余暇】	一人で余暇時間を楽しむ、人と一緒に余暇時間を楽しむ
家事や労働を営む力【家事・労働】	家事に関することに取り組む、働く、自分の適性を理解する

け、個別の指導計画の指導目標と指導内容を整理し、その目標にそって観点を設けて評価することが考えられる。例えば、北九州市立八幡西養護学校⁵⁾は、表5に示す「将来につながる経験内容表」を整理し、生活単元学習の中心課題として指導内容を設定することを提案している。各領域の内容項目が各単元の内容となるものであり、この内容項目毎に観点を設けて評価することができるだろう。

この内容項目毎に観点を設けて評価することの具体例として、新潟大学教育人間科学部附属養護学校¹⁾の生活単元学習の評価がある。新潟大学教育人間科

学部附属養護学校では、従来より表6に示す「自立につながる力の内容表」が改訂されながら整理されてきている。中学部では、生活単元学習で年間を通じて優先的に育てたい内容を前述の観点、例えば【豊かな心】と【集団生活】の中から選択し、生活単元学習で願う生徒の姿と活動場面を想定し、表7に示す「評価の視点」を設定している。

(4) 各教科の評価の課題

ア 個別の指導計画の作成・実践・評価のサイクルの確立

前述したように、知的障害養護学校では、教育課

程に基づき作成された個別の指導計画に示された個人の目標に照らして学習状況を評価することになる。個別の指導計画の作成での目標設定、実践、評価のそれぞれの過程で妥当性等を高めていくためには、保護者・本人と連携した個別の指導計画の作成シス

テムの確立が重要となる。

イ 生活のなかでの評価

領域・教科を合わせた指導だけでなく教科別の指導においても、生活に結びついた実際の具体的な活動を学習活動の中心に据え、自然で必要性のある

表7 生活単元学習の「評価の視点」(新潟大学教育人間科学部附属養護学校)

内容の観点	内 容	生活単元学習で願う姿	主な活動場面	「評価の視点」
【豊かな心】	興味・関心を持つ	関心を持つ姿	話し合いなどの導入場面	選択・意見
	豊かに感じたり表現したりする 目的・見通しを持つ 向上心を持つ	のびのびと表現して楽しむ姿 見通しを持って楽しむ姿 工夫して楽しむ姿 (生徒に応じて選択する。優先課題として「評価の視点」の中に明記する。)	制作やゲームを含む活動全般	表現
【集団生活】	集団生活に参加する	友達とかかわって楽しむ姿		
	協力する	自分の役割を果たす姿	係活動に取り組む場面	役割

具体的な経験を通して学習することが大切にされるべきだと考える。従って、評価の観点を設けるとき、学習した内容が生活の中でどう生かされているか、つまり「指導の成果が日常生活に見られる(日常生活での実現化)」の観点からの評価が必要だと考える。

ウ 本人にわかりやすい評価

知的障害のある子どもたち自身の自己評価については、日々の授業のなかで意図的になされているかを振り返りたい。子どもが評価しやすい目標の設定、例えば、回数や個数、完成品のモデルとの比較などの具体的な目標を設定することで、目標を伝えやすくなることが期待され、その結果、学習活動を自ら評価しやすくなることが考えられる。

エ 保護者や関係者にわかりやすい評価

知的障害養護学校では、学習状況の評価を文章により保護者や関係者(授業担当者等)に伝えられることが多いと考えられる。前述の評価しやすい目標の設定により保護者や関係者にもわかりやすい評価となると考えられる。また、近年のデジタルカメラ

等の普及により、画像による記録が簡単にできるようになってきており、画像を添えることで一層わかりやすい評価(記録)となることが期待される。

引用・参考文献

- 1)新潟大学教育人間科学部附属養護学校. 平成15年10月. 研究紀要第26集.
- 2)宮崎県立宮崎南養護学校. 平成16年2月. 知的障害養護学校における評価の在り方～評価システムの構築と活用を目指して～.
- 3)盲学校, 聾学校及び養護学校学習指導要領. 文部省. 平成11年3月.
- 4)盲学校, 聾学校及び養護学校学習指導要領(平成11年3月)解説-各教科, 道徳, 特別活動編-. 文部省. 平成12年3月.
- 5)生活単元学習資料集単元集. 北九州市立八幡西養護学校. 平成9年度.

(竹林地 毅)

<p>(集団の生誕会に参加する。師号の活動を)</p> <p>1 参加の生誕会に参加する。</p> <p>2 遠足、運動会などに参加する。</p> <p>3 地域の行事に参加する。</p> <p>(共同の作業と役割分担)</p> <p>4 給食のときに、教師と一緒に食器を並べたり、牛乳を配ったりする。</p>	<p>5 役割</p> <p>(集団の生誕会に参加する。役割分担)</p> <p>1 参加の生誕会に参加する。</p> <p>2 遠足、運動会などに参加する。</p> <p>3 地域の行事に参加する。</p> <p>(共同の作業と役割分担)</p> <p>4 給食のときに、教師と一緒に食器を並べたり、牛乳を配ったりする。</p>	<p>(集団の生誕会に参加する。役割分担)</p> <p>1 参加の生誕会に参加する。</p> <p>2 遠足、運動会などに参加する。</p> <p>3 地域の行事に参加する。</p> <p>(共同の作業と役割分担)</p> <p>4 給食のときに、教師と一緒に食器を並べたり、牛乳を配ったりする。</p>
<p>(手伝い)</p> <p>1 教師と一緒に、配布物などを配ったりする。</p> <p>(整理整頓)</p> <p>2 教師と一緒に、学習用具をそろえる。</p> <p>(戸締まり)</p> <p>3 教師と一緒に、窓や扉の開閉を習慣づける。</p> <p>(掃除)</p> <p>4 教師と一緒に、ごみを捨てたり、ごみ箱の掃除をする。</p>	<p>6 手伝い・仕事</p> <p>(手伝い)</p> <p>1 学級で配りものの手伝いをする。</p> <p>2 他の教室などへ、物を届けたり、取り戻したりする。</p> <p>(整理整頓)</p> <p>3 ロッカーなどの中を整理する。</p> <p>4 教師と一緒に友達が使う物の準備を整える。</p> <p>(戸締まり)</p> <p>5 窓や扉の開閉、施錠などの手伝いをする。</p> <p>(掃除)</p> <p>6 掃除に使う簡単な道具や器具の扱いに慣れ、簡単な掃除をする。</p> <p>7 教師と一緒に、自分のハンカチ</p>	<p>(手伝い)</p> <p>1 教室の掃除や、伝言板などを使い、伝言を届ける。</p> <p>2 他室の伝言板などを使い、伝言を届ける。</p> <p>3 修繕の手伝いをする。</p> <p>4 整理整頓の手伝いをする。</p> <p>5 整理整頓の手伝いをする。</p> <p>6 整理整頓の手伝いをする。</p> <p>7 整理整頓の手伝いをする。</p> <p>(戸締まり)</p> <p>8 窓や扉の開閉、施錠などの手伝いをする。</p> <p>(掃除)</p> <p>9 掃除に使う簡単な道具や器具の扱いに慣れ、簡単な掃除をする。</p> <p>10 掃除の手伝いをする。</p>

5 硬貨や紙幣を使って買い物をする。これに必要なら「言葉」をい

6 (自動販売機の利用) 一人

6 「言葉」をい

7 「言葉」をい

8 「言葉」をい

9 「言葉」をい

10 (自動販売機の利用) 一人

1 (自然) 海

2 (自然) 海

3 (動物) 探

4 (動物) 探

5 (動物) 探

1 (自然) 海

2 (自然) 海

3 (動物) 探

4 (動物) 探

5 (動物) 探

6 (自動販売機の利用) 一人

7 (自動販売機の利用) 一人

8 (自動販売機の利用) 一人

9 (自動販売機の利用) 一人

6 (自動販売機の利用) 一人

7 (自動販売機の利用) 一人

8 (自動販売機の利用) 一人

9 (自動販売機の利用) 一人

3 学校の近くのポストに手紙を投
かかす。

(交通機関の利用)
3 機師と一緒に、電車を
4 乗降の時に料金を払
し、電車の支払に乗
る。通る。バスに乗
れる。

(交通機関の利用)
4 機師の援助を受け、電
5 車の購入やバスを
6 通った通る。降内
の電地学の電話の扱
り。

なおよその仕事
3 がおおよその仕事
4 がおおよその仕事
5 がおおよその仕事
6 がおおよその仕事
7 がおおよその仕事
8 がおおよその仕事

(交通機関の利用)
6 機師の乗降の時に料
7 金を払う。電車を
8 乗る。バスに乗る。

	<p>る。</p> <p>12 朝、昼、晩の違いに気付く。</p> <p>13 学校に行く日（授業日）と行かない日（休業日）があることに気付く。</p>		<p>たりする。</p>	<p>7 いろいろな図表やグラフを読んだり、書いてたりする。</p>	
	<p>12 朝、昼、晩の違いに気付く。</p> <p>13 学校に行く日（授業日）と行かない日（休業日）があることに気付く。</p>	<p>9 時計で天体の時刻を読む。</p> <p>10 今日の日付や曜日が分かり、暦を読む。</p>	<p>10 時刻を読んだり、簡単な時間の計算をしたりする。</p> <p>11 日課表や時刻表を読む。</p> <p>12 暦のおおよその仕組みが分かり、その扱いに慣れる。</p> <p>13 支払い物などを、簡単なお金の計算をする。</p>	<p>8 生活の中で、時計や暦を利用し、時間や日数の計算をする。</p> <p>9 乗り物などの時刻表を読み、待ち時間などが分かる。</p> <p>10 金銭に関する生活の中で使う。</p>	<p>8 時計や暦を使って、予定を立てるなど、生活の中で活用する。</p> <p>9 乗り物などの時刻表を読んで、通学や旅行の計画を立てる。</p> <p>10 収入や支出など、金銭に関する事項が分かる、出納帳などを生活の中で活用する。</p>

じ登ったり、飛び降りたりする。

11 バラ器を使ったり遊ぶ。

12 這ったり、くぐりたりして遊ぶ。

13 低い跳び箱に乗りたり、下りたり、またがったりする。

14 マットの上で、横や前にころの上を走り、低く歩いたりする。

15 支えられた歩いたり、手をひかれて歩いたりする。

16 一人で行ったり、しゃんたり、りする。

17 まま、片足や両足で踏み切ったり遊ぶ。

18 ボールを転がしたり投げる。

19 音楽が流れていて、所を動かす。

20 動物のまねをして、はねたり、跳んだりする。

21 歌を伴った遊びをする。

(水遊び)

24 膝ぐらゐの水の中を遊ぶ。

が、前、ころがりを、す。

13 低い平均台の上を歩いたり、蹴ったりして遊ぶ。

14 ボールをついたり、蹴ったりする。

15 近い距離でボールを投じたりする。

16 ボール送りゲームをする。

(表現遊び)

17 動物などのまねをして遊ぶ。

18 簡単なリズム遊びをする。

19 音楽に合わせて歩いたり、跳んだりする。

(水の中の運動)

20 川遊びなどをする。

21 膝ぐらゐの深さの水の中で、歩いたり、走ったりする。

22 顔や頭を水の中に入れて、いろいろな遊びをする。

が、平均台の上を歩いたりする。

16 ボールを蹴りながら走る。

17 ドリブルをする。

18 円形ドリッジボールをする。

(表現遊び)

20 音楽に合わせて自由な表現をする。

21 簡単なフォーンダンスを踊る。

(水の中の運動)

22 水の中で、目を開く。

21 水の中で、鼻から息をはく。

22 水の方で沈み方、浮き方慣れる。

23 水の中ではたきをする。

短なわ跳び、長なわ跳びをする。

8 体操を曲に合わせで行う。

(簡単なスポーツ)

9 低鉄棒で足抜き回りをする。

10 高鉄棒にぶらさがって体を前後に振ったりする。

11 跳び箱で腕立て跳び上がり、腕立て跳び越したりする。

12 マットで前転、後転などをする。

13 マットで開脚前転、開脚後転などをする。

14 平均台の上で方向変換をする。

15 速度や方向を変えたりする。

16 全力疾走する。

17 物を持ちて走り、つかいだりして走る。

18 幅広い障害を跳ぶこえる。

20 走り幅跳びをする。

21 かなり長い距離を走る。

22 水の中で、伏し浮きやけ伸びをする。

23 水の中で、立ち上がり動作をする。

24 水の中で、顔を浮かべたりする。

25 ボールを使って相手を向けたり、蹴ったりする。

(いろいろなスポーツ)

2 歩・走・跳・投・捕などの全身運動をする。

3 低鉄棒で膝かけ振り上がり、逆上がりなどをする。

4 跳び箱で開脚跳び、台上前転などをする。

5 平均台の上で方向変換をしたり、後歩き、片足立ちなどを

6 短距離走、長距離走、持久走をする。

7 トレーニングをする。

8 水の中で呼吸の仕方を覚える。

9 クロール、平泳ぎ、潜水などをする。

10 フットボール、サッカーなどをする。

11 スキー、スケート、登山などをする。

(いろいろなスポーツ)

4 高鉄棒で振り跳びをする。

5 跳び箱で閉脚跳びをする。

6 マット運動で連続前転、連続後転、開脚前転、開脚後転などをする。

7 ハードルなどで障害走をする。

8 走り高跳びをする。

9 背泳ぎ、横泳ぎなどをする。

10 スタートやターンをする。

11 長い距離を泳ぐ。

12 バンドボール、バレーボールなどをする。

13 卓球、バドミントンなどをする。

14 柔道や剣道などをする。

<p>25 笛や太鼓，言葉掛 けの合図により，立 ったり，座ったりす る。</p>		<p>24 集合・整列をす る。リズムに合わせ て進行する。間隔をと って1～2列で整列す る。1～2列で正しく 歩く。</p>	<p>27 スキー，スケート などをすうなどをす る。 (ダンス) 29 音楽に合わせて自 由に身体表現をす る。簡単なフォークダ ンスや民謡を踊る。</p>	<p>(ダンス) 12 フォークダンスや民 謡を踊る。</p>	<p>(ダンス) 15 ダンスを創作し たり鑑賞したりす る。</p>
<p>25 集合・整列をす る。リズムに合わせ て進行する。間隔をと って1～2列で整列す る。1～2列で正しく 歩く。</p>	<p>23 合図で集合する。 24 1列に並んで歩 く。</p>	<p>31 リレーで決めら れた約束を守る。バ トントンをすする。フッ 32 トバスをすする。フッ ツカーをすする。フッ 33 ツバスをすする。フッ ケットボール，卓球，ソ フトボール，トンなどを バスの。</p>	<p>13 正しい使用に注意 して活動する。 14 運動の仕方やルール を守る。 15 運動の仕方やルール を守る。</p>	<p>16 スポーツの正規の ルールを覚え，ルール を守って運動する。 17 運動に必要な用具を 自立的に用意したり， 片付けたりする。考えたり 18 各自の役割を考えたりし て，協力をし，ゲームを 進める。</p>	<p>16 スポーツの正規の ルールを覚え，ルール を守って運動する。 17 運動に必要な用具を 自立的に用意したり， 片付けたりする。考えたり 18 各自の役割を考えたりし て，協力をし，ゲームを 進める。</p>
<p>34 進んで身体及び身 辺の清潔に気をつけ る。 35 気温の状態や着衣 を調節する。や性徴を 36 通身測定，体の発育に各 関心をもち，知ると後 37 心の働きやゲームのう で汗をふいたりする。な がたいたりする。用具な 38 どの使用方，遊びが方 ななを知り，けがにつ ななをしよう気をかけ る。体の状態を考えて</p>	<p>15 常に身体や身辺を 清潔に保つ。状態を考えて 16 進んで適切な運動を する。 17 運動や作業などの 後，汗をふいたり，替 うがたり，手を洗ったり，替 え安をしする。 18 安全に注意して連 動する。 19 簡単な応急手当での 仕方を知らる。下着を汚さ ないよう交換をする。</p>	<p>34 進んで身体及び身 辺の清潔に気をつけ る。 35 気温の状態や着衣 を調節する。や性徴を 36 通身測定，体の発育に各 関心をもち，知ると後 37 心の働きやゲームのう で汗をふいたりする。な がたいたりする。用具な 38 どの使用方，遊びが方 ななを知り，けがにつ ななをしよう気をかけ る。体の状態を考えて</p>	<p>15 常に身体や身辺を 清潔に保つ。状態を考えて 16 進んで適切な運動を する。 17 運動や作業などの 後，汗をふいたり，替 うがたり，手を洗ったり，替 え安をしする。 18 安全に注意して連 動する。 19 簡単な応急手当での 仕方を知らる。下着を汚さ ないよう交換をする。</p>	<p>19 体の発育や健康に関 心をもち，体の各部の 働きを知ると。や疲れた時 は適宜休養をとる。を 20 健康な生活を送る。予 21 健康な生活を送る。予 22 健康な生活を送る。予 23 健康な生活を送る。予 24 健康な生活を送る。予</p>	<p>19 体の発育や健康に関 心をもち，体の各部の 働きを知ると。や疲れた時 は適宜休養をとる。を 20 健康な生活を送る。予 21 健康な生活を送る。予 22 健康な生活を送る。予 23 健康な生活を送る。予 24 健康な生活を送る。予</p>

適度な運動をしよう。栄養偏りにならないように、食事をよく摂る。40
41 小さな処置を自分でする。必要に応じて、体温計や水枕などを使う。薬を指示どおり服用する。病気がないことを確認する。ナプキン交換は、清潔に過

<p>4</p>	<p>5</p>	<p>6</p>
<p>1 時と場所に応じて、適切な言葉や態度で対応する。</p> <p>2 困ったとき、分からなるときは、人に尋ねたり、教えてもらったりして、目的を果たす。</p> <p>3 友達などが困っているのを見たときは、手助けをする。</p> <p>4 身近な問題を仲間と話し合い、自分の意見も述べる。</p> <p>5 学校や学級の行事などで、役割を分担して仕事をす。</p> <p>6 他の人の迷惑にならないうように行動する。</p> <p>7 学校や学級の決まりをよく守る。</p> <p>8 日常生活に関係の深い市町村や国のいろいろな決まりを知る。</p>	<p>1 集団生活と態度</p> <p>1 1 集団生活と態度</p> <p>2 1 集団生活と態度</p> <p>3 1 集団生活と態度</p> <p>4 1 集団生活と態度</p> <p>5 1 集団生活と態度</p> <p>6 1 集団生活と態度</p> <p>7 1 集団生活と態度</p> <p>8 1 集団生活と態度</p> <p>9 1 集団生活と態度</p>	<p>1 1 集団生活と態度</p> <p>2 1 集団生活と態度</p> <p>3 1 集団生活と態度</p> <p>4 1 集団生活と態度</p> <p>5 1 集団生活と態度</p> <p>6 1 集団生活と態度</p> <p>7 1 集団生活と態度</p> <p>8 1 集団生活と態度</p> <p>9 1 集団生活と態度</p>
<p>10 1 集団生活と態度</p>	<p>10 1 集団生活と態度</p>	<p>10 1 集団生活と態度</p>
<p>13 1 公共施設</p> <p>14 1 公共施設</p> <p>15 1 公共施設</p> <p>16 1 公共施設</p> <p>17 1 公共施設</p> <p>18 1 公共施設</p> <p>19 1 公共施設</p>	<p>13 1 公共施設</p> <p>14 1 公共施設</p> <p>15 1 公共施設</p> <p>16 1 公共施設</p> <p>17 1 公共施設</p> <p>18 1 公共施設</p> <p>19 1 公共施設</p>	<p>13 1 公共施設</p> <p>14 1 公共施設</p> <p>15 1 公共施設</p> <p>16 1 公共施設</p> <p>17 1 公共施設</p> <p>18 1 公共施設</p> <p>19 1 公共施設</p>

<p>16 年賀状、喜中見舞い状などの手紙のやりとりをする。</p> <p>17 生徒会の役員選挙に関心をもち、積極的に参加する。</p> <p>18 生産者や消費者をつなぐ商店、市場などの働きを知る。</p> <p>19 農業、林業、漁業などと自分達との生活とのつながりを知る。</p> <p>20 主な職業の種類と内容を知る。</p> <p>21 工場などで物を作る様子を知る。</p> <p>22 勤労に対して報酬が得られることを知る。</p> <p>23 日常生活で使う水、電気、ガスなどの働きを知り、大切に使う。</p>	<p style="text-align: center;">社会の出来事・社会的象</p> <p>20 選挙の意味がだいたい分かり、市町村などの選挙に関心をもつ。</p> <p>21 生産者と消費者との結び付きを知る。</p> <p>22 いろいろな産業と自分達の生活との関係を知る。</p> <p>23 職業の種類を知り、どの職業も社会に必要なことが分かる。</p> <p>24 地域産業の製品を知る。</p> <p>25 多くの人々の働く様子を知り、労働と収入の関係を理解する。</p> <p>26 水道、電気、ガスなどの事業や廃棄物の処理について知る。</p> <p>27 経済的にも時間的にも計画を立てて、生活することの必要性を知る。</p> <p>28 社会福祉施設や機関などについてその内容を知らる。</p> <p>29 災害や公害について関心をもち、日常生活で必要な注意をする。</p>	<p>13 選挙の意味を理解し、市町村や国などの選挙に関心をもつ。</p> <p>14 生産、消費などの流通の仕組みを知る。</p> <p>15 主な産業の製品が分かり、輸出入との関連を知る。</p> <p>16 労働と収入の関係を理解し、勤労が生活に必要なことを知る。</p> <p>17 水道、電気、ガスなどの事業や廃棄物の処理について考え、環境との関係を知る。</p> <p>18 自己の生活に對して、長期の計画を立てて生活することの必要性を知る。</p> <p>19 地域の文化活動に参加し、ボランティア活動に関心をもつ。</p> <p>20 災害や公害に関心をもち、地球環境との関連を考える。</p>
<p>24 他校の生徒や近隣の人々との交わり、地域の行事にも参加する。</p> <p>25 地域のいろいろな商店を知り、利用する。</p> <p>26 学校周辺の道路や建物を知る。</p> <p>27 自分の住んでいる地域の地形などの特徴を知る。</p> <p>28 簡単な地図や交通の路線図などが分かる。</p> <p>29 地図を見て、自分の住んでいる県の位置や世界の主な国の位置を知る。</p> <p>30 昔の人々の生活の様子に関心をもつ。</p>	<p style="text-align: center;">地域の様子と社会の変化・我が国の地理・歴史</p> <p>30 学校が所在する市町村の主な道路や建物などを知る。</p> <p>31 日本の主な山脈、河川及び平野などを知る。</p> <p>32 簡単な地図、交通の路線図などを作り、地理について理解する。</p> <p>33 地図を見て、自分が住んでいる県や市、世界の国々の位置が分かる。</p> <p>34 昔の人々の生活の様子を知り、その特徴が分かる。</p> <p>35 古い建物や史跡などを見学したりして、昔の生活に関心をもつ。</p> <p>36 地域の文化財や行事に関心をもち、昔のものを大切にす。</p> <p>37 学校のなりたちや地域や国の移り変わりに関心をもつ。</p>	<p>21 日本や世界の地形の特徴を知る。</p> <p>22 地図や交通路線図を見て、目的地に行く。</p> <p>23 地図や地球儀を見て、日本と世界の国々の位置や位置関係を知る。</p> <p>24 昔の人々の生活の様子と現在を比較し、その移り変わりを知る。</p> <p>25 古い建物や史跡などを見学したりして、昔の生活の様子や現在の生活との違いを知る。</p> <p>26 地域の文化財や行事に関心をもち、文化遺産を大切にす。</p> <p>27 地域や国の移り変わり と政治との関連を知る。</p>
<p>31 日本や世界の主な国の自然や生活の様子を知る。</p> <p>32 国と国との協力することの大切さを知る。</p> <p>33 新聞、テレビなどを通して、日本や世界の主な出来事に関心をもつ。</p>	<p style="text-align: center;">外国の様子</p> <p>38 世界の国々の自然や生活の様子を知り、外国に関心をもつ。</p> <p>39 世界の国々が協力し合うことの大切さを知る。</p> <p>40 時事問題に関心をもち、その内容を知る。</p>	<p>28 世界の国々の自然や生活の様子を知り、外国との関係について考える。</p> <p>29 国際連合や国と国との外交の役割を知る。</p> <p>30 時事問題に関心をもち、日本や外国の政治、経済のおよその状況や流れを知る。</p>

知り、それらの働きに関心をもち、使用する。
 17 乗り物などの仕組みや働きに関心をもち、使用する。
 18 日常生活でよく使う光学製品の仕組みや働きに関心をもち、使用する。
 19 文房具や事務用品の主な仕組みや働きに関心をもち、使用する。
 20 日常生活でよく使う石鹼や洗剤の性質や働きに関心をもち、使用する。
 21 砂糖や塩などの調味料、サラダ油や天ぷら油などの食用油の性質や使い方に関心をもち、使用する。
 22 プロパンガスや都市ガスなどの性質やガス器具の働きや使い方に関心をもち、使用する。
 23 日常生活でよく使う金属、プラスチック、ガラスなどの製品の性質や用途に関心をもち、使用する。
 24 日常生活でよく使う機械・器具の正しい使用方法や保管の仕方が分かる、安全に使用する。

性質、働きや使い方が分かる、使用する。
 17 乗り物などの仕組みや働きが分かる。
 18 日常生活でよく使う光学製品の仕組みや働きが分かる、使用する。
 19 文房具や事務用品などの仕組み、働き、使い方が分かる、使用する。
 20 日常生活でよく使う石鹼、漂白剤、殺虫剤などの性質、働き、使い方が分かる、使用する。
 21 ガソリンや灯油、潤滑油の性質や使い方が分かる、安全に使用する。
 22 ガスの性質やガス器具の働きや使い方が分かる、安全に使用する。
 23 日常生活でよく使用する金属、プラスチック、ガラスなどの製品の性質や用途が分かる、使用する。
 24 身近な機械・器具の他に内燃機関を用いた機械・器具の正しい使用方法や保管の仕方が分かる、安全に使用する。

性質、働きや使い方が分かり、適切に取り扱う。
 17 乗り物などのエンジンの仕組みや働きが分かる、適切に利用したり、取り扱ったりする。
 18 光学製品の仕組み、働き、使い方が分かり、適切に取り扱う。
 19 事務機器、コンピュータなどの初歩的な仕組み、働き、使い方が分かり、適切に取り扱う。
 20 洗浄用石鹼や合成洗剤、殺虫剤などの化学製品の性質、働きや使い方が分かり、適切に取り扱う。
 21 灯油や潤滑油、揮発油などの性質や使い方が分かる、安全に取り扱う。
 22 ガスの性質やガス器具の働き、仕組み、使い方が分かる、安全に取り扱う。
 23 金属、プラスチック、ガラスなどの製品の性質や用途を知り、日常生活で適切に取り扱う。
 24 内燃機関を用いた大型機械・器具の正しい使用方法や保管の仕方などが分かり、安全かつ効果的に使用する。

25 日常生活でよく触れる水や土などの性質に関心をもつ。
 26 太陽、月、星などの天体について関心をもつ。
 27 季節による気象の変化や特徴に関心をもつ。
 28 地震や火山活動などに関心をもつ。
 29 海、山、川などの自然のありさまに関心をもつ。
 30 身近な自然の変化と日常生活との結び付きに関心をもつ。

25 日常生活でよく触れる水や土などの主な性質が分かる。
 26 太陽、地球、月、惑星、恒星などの天体についての初歩的な知識をもつ。
 27 季節による気象の変化や災害などの主な特徴が分かる。
 28 地震や火山活動、災害などに関する初歩的な知識をもつ。
 29 海、山、川などの自然のありさまやおよその働きが分かる。
 30 自然の変化と日常生活との結び付きが分かる。

25 水、空気、土などの性質と日常生活との主な関係が分かる。
 26 太陽、月、星などの天体の動きや太陽と地球及び月の位置に関する主な特徴が分かる。
 27 季節による気象の変化や災害などの特徴を知り、生活に役立てる。
 28 地震や火山活動などに関する知識をもち、災害防止及び避難に役立てる。
 29 海、山、川などの自然のおよその働きと日常生活との主な関係が分かる。
 30 自然の変化と日常生活との結び付きが分かる、生活に役立てる。

職業・家庭科 [職業] ， 職業科

4	5	6
<p>1 周囲の人々が働いていることに関心をもち、仕事に参加する。</p> <p>2 物を作ったり、育てたりすることに興味、関心をもち、仕事への意欲をもつ。</p> <p>3 ふざけたり、むだ話、よそ見などをしたりしないで仕事をしする。</p> <p>4 仕事の好き嫌いをしない、最後までする。</p> <p>5 時と場に応じた服装、動作、言葉づかいなどを</p>	<p>働くことの意味</p> <p>1 周囲の人々が働かながら生活していることを知り、働くことの喜びをもち、仕事に参加する。</p> <p>2 物を作ったり、育てたりすることの喜びを味わい、仕事への自信をもつ。</p> <p>3 注意を集中し、長い時間正確に作業をする。</p> <p>4 いろいろな作業に積極的に取り組み、最後までやりとげる。</p> <p>5 時と場に応じた服装、動作、言葉づかいなどを適切にする。</p>	<p>1 働くことの意味が分かり、積極的に仕事をし、物を作ったり、育てたりすることが社会に役立ち、働くことが分かり、自分の仕事を理解する。</p> <p>2 注意を集中するポイントが分かり、正確な作業を長時間続ける。</p> <p>3 いろいろな作業にも積極的に取り組み、最後までやりとげる。</p> <p>4 時と場に応じた服装、動作、言葉づかいなどが分かり、適切にする。</p>
<p>6 作業に必要な簡単な道具や工具を安全に使う。</p> <p>7 作業に使う道具、機械などの名称、操作の仕方を知り、補助具などを使って安全に正しく扱う。</p> <p>8 道具や機械などの簡単な手入れをする。</p> <p>9 道具や機械、材料などの後片付けや整理整頓をする。</p> <p>10 原材料などをむだのないように使う。</p> <p>11 原材料などや製品、収穫物を大切に扱う。</p> <p>12 品物の長さや重さなどを測ったり、数えたりする。</p> <p>13 注意して品物などの運搬ができる。</p> <p>14 簡単な梱包をしたり、ほどこいたりする。</p> <p>15 品物をならべたり、束ねたり、積み重ねたりする。</p> <p>16 簡単な記帳事務を知る。</p> <p>17 合図に従って仕事を始め、作業場を離れる時には、必ず、報告をする。</p> <p>18 清掃の用具を使って、きれいに掃除をする。</p> <p>19 安全に関するいろいろな用語や標識に関心をもち、自分や他人の安全に気をつけて作業をする。</p> <p>20 危険な場所や物に注意して作業をする。</p> <p>21 危険な場所や物に注意して作業をする。</p> <p>22 機械の故障や危険な状態に気づいたら、す</p>	<p>道具や機械</p> <p>6 いろいろな道具、機械などの操作に慣れ、正しく扱う。</p> <p>7 作業に必要ないろいろな道具や機械などの仕組みを理解し、安全に正しく扱う。</p> <p>8 道具、機械などの手入れや簡単な修理をする。</p> <p>9 道具、機械、材料、製品などの後片付けや管理をきちんとする。</p> <p>10 製品に必要な原材料の名称が分かる。</p> <p>11 原材料の扱い方を知り、必要な分量を量って使う。</p> <p>12 原材料や製品、収穫物などの整理と保管をする。</p> <p>13 製品や材料の長さや重さなどを測定器を使って測定する。</p> <p>14 道具や機械を利用して、品物の運搬、移動をする。</p> <p>15 いろいろな品物を梱包したり、ほどこいたりする。</p> <p>16 品物を数えたり、並べたり、束ねたり、積み重ねたりする。</p> <p>17 仕事に関連する伝達、記帳などの簡単な実務を正確にする。</p> <p>18 簡単な図面を見たり、書いたりする。</p> <p>19 清掃用具を使い、清掃やゴミの処理をする。</p> <p>20 安全に関する用語や標識の意味を理解する。</p> <p>21 自分や他人の安全に気を配って作業をする。</p> <p>22 危険な場所や状況に注意して作業をする。</p>	<p>6 いろいろな道具、機械などの操作に習熟し、正確に扱う。</p> <p>7 作業内容と使用する道具や機械の仕組みの関係を分かり、道具や機械を安全に正しく使う。</p> <p>8 道具や機械などを点検し、日常的な手入れや、簡単な修理をする。</p> <p>9 道具、材料、製品を決められた場所に保管したり、機械の管理を正確に行ったりする。</p> <p>10 原材料の特徴と加工法との関係について理解する。</p> <p>11 原材料の性質を知り、むだのないように適切に使う。</p> <p>12 原材料や製品、収穫物をそれぞれの特徴を理解して整理し、決められた場所に保管する。</p> <p>13 製品や材料の規格を適切な測定器を使って、正確に測定する。</p> <p>14 道具や機械を利用して、決められた場所に正確に品物の運搬をする。</p> <p>15 道具や機械を使って、品物を決められた手順で梱包したり、ほどこいたりする。</p> <p>16 品物を正確に数えたり、決められたとおりに並べたり、束ねたり、積み重ねたりする。</p> <p>17 仕事に関連する帳簿や報告書などが分かる。記帳や読み取りなどの実務を適切に行う。</p>

<p>ぐに知らせる。</p>	<p>23 機械の故障や危険な状態に気づいたら適切な処 理をする。</p>	<p>18 凶面を見たり、書いたりして、作業をす る。 19 用途にあった清掃用具を使い、決められた 手順で清掃やゴミの処理をする。 20 安全に関する手引き書などを理解する。 21 自分や他人の安全を確保して、作業をす る。 22 危険な場所や状況を予測して、安全に作業 する。 23 機械の故障の有無や危険な状態であるかを 点検し、必要な処置をする。</p>
<p>24 仕事の内容と、自分の負担する役割が分か る。 25 仕事について分らないことはよく聞いて する。 26 人と協力して仕事をしようにする。 27 必要なとき以外は、むやみに人の仕事に手 出しをしないようにする。 28 仕事の決まり、指示などをよく守る。 29 お金や物などで公私の区別をする。 30 製品や収獲物の良否が分かる。</p>	<p>24 自分に負担された仕事を責任をもって、最後ま でやりとげる。 25 仕事をすると、分らないことは自分からす すんで聞く。 26 人と協力して仕事をす。 27 他人の失敗や過失に気づいたら、相手にそのこ とを伝える。 28 作業の決まりや指示、伝達、注意などをよく守 る。 29 製品の良否が分かり、不良品を出さないよう に注意する。</p>	<p>24 百分の負担された仕事の役割が分かり、責 任をもってやりとげる。 25 仕事の方法やだんまりなどが分からず聞 きは、分らないことをはっきりさせて聞 く。 26 人と協力して効率よく仕事をす。 27 他人が失敗した場合は、協力して処理に当 たつ。 28 作業の手順や指示・伝達などを理解し、そ のとおり仕事をす。 29 製品の良否を点検する方法が分かり、不良 品を出さない方法を工夫する。</p>
<p>30 身近な品物がどのようになっているか職 場見学で知る。 31 物を作るために、多くの人々が仕事を分担 し、協力していることを知る。 32 家族や先輩の職業に開心をもち、自分の住 んでいる地域にどんな職業の種類があるかを 知る。 33 会社などで働いている人々の様子を見て、 卒業後の生活について関心をもつ。 34 いろいろな交通機関の利用の仕方について 関心をもつ。 35 自分の能力や適性などがある程度分り、 進路について関心をもつ。 36 公共職業安定所、福祉事務所などの役割と 利用の仕方に関心をもつ。</p>	<p>30 職場などの見学で製品の生産工程を知 る。 31 生産工程で仕事をそれぞれ分担し、責任をも って働いていることを知る。 32 いろいろな職場に関心をもち、知識を深める。 33 働くことの大切さや厳しさを知り、卒業後の生 活について自覚をもつ。 34 自分の能力や適性などを理解し、進路につ いて決める。 35 公共職業安定所、職業センター、福祉事務所な どの役割が分かり、利用の手続きや方法に関心 をもつ。 36 職業についてからも、たえず職業的能力を高 めようと努めることの大切なことが分かる。 37 職場の組織や機構について関心をもつ。 38 労働と報酬との関係が分かる。 39 給料の使い方を知る。 40 労働時間、賃金、休暇などの基本的労働条件に ついて知る。</p>	<p>30 職場などの見学で、製品の生産工程や流通 について知る。 31 生産工程で仕事をそれぞれ分担し、責任を もって働くことの意味が分かる。 32 職場には様々な仕事があり、それぞれが関 連していることを知る。 33 働くことの意味を自覚し、卒業後の職業生 活に見通しをもつ。 34 自分の個性や能力が発揮できる職業を知 り、主体的に進路先を選択する。職業センタ ー、どんなときに公共職業安定所、職業センタ ー、福祉事務所などを利用するかが分り、 実際に利用する。 35 職業についてから職業的能力を高める方 法が分かる。 36 職場の機構が分かり、職場では組織の一員 として働くことを理解する。 37 労働の時間や内容と報酬が関係しているこ と</p>

<p>41 健康保険，労働保険，年金などの制度のあらましを知る。</p> <p>42 労働災害や職業病などについて知る。</p>	<p>41 健康保険，労働保険，年金などの制度のあらましを知る。</p> <p>42 労働災害や職業病などについて知る。</p>	<p>39 労働時間，賃金，休暇などの基本的労働条件が分かると，進路選択の参考にする。</p> <p>40 職業生活をすすめる上で，健康保険，労働保険，年金などが大切であることを理解する。</p> <p>41 労働災害や職業病などから身を守る方法を理解する。</p>
<p>37 産業現場等における実習の意味を理解して，仕事をすすめる。</p> <p>38 実習先でのいろいろな決まりを守る。</p> <p>39 仕事に関する自分の分担当を理解して行う。</p> <p>40 実習の場面に応じて，人と協力して仕事をすすめる。</p>	<p>43 職場までの交通機関の利用の仕方について知る。</p> <p>44 産業現場等における実習の意味を理解し，進んで仕事をすすめる。</p> <p>45 実習をする場でのいろいろな決まりを守る。</p> <p>46 仕事に関する自分の分担当に責任をもって，最後までやりとげる。</p> <p>47 実習の場面に応じ，すすんで人と協力する。</p> <p>48 実習中の健康と安全に注意する。</p> <p>49 生産した物が，社会でどのように利用されているかを理解する。</p>	<p>42 職場までの通勤方法や定期券などの購入方法を理解する。</p> <p>43 産業現場等における実習を積極的にを行い，自己の進路選択に役立てる。</p> <p>44 実習をする場での決まりを理解し，決まりを守る。</p> <p>45 仕事に関する自分の分担当を理解し，効率よく仕事をやりとげる。</p> <p>46 実習の様々な場面での役割を理解し，すすんで人と協力する。</p> <p>47 実習中の健康管理と安全確保の方法が分かると，実践する。</p> <p>48 実習先の製品の流通，消費などを理解する。</p>
<p>41 休憩時間や自由時間を人がそれぞれ工夫して使っていることに気づき，大切な時間であることが分かる。</p> <p>42 自分の趣味，テレビ，音楽，ゲームなどをしたり，買い物などをして過ごす。</p> <p>43 卒業後，学校と連絡をとったり，同窓会などに参加したりすることの意味が分かる。</p>	<p>50 翌日の体調を考慮した確実な確保，決められた休憩時間の活用，食事の取り方など，健康管理の方法を知る。</p> <p>51 休憩時間や休日の適切な過ごし方を知る。</p> <p>52 職場でのサークル，厚生施設などの利用方法を理解する。</p>	<p>49 休憩時間の使い方や，休日の過ごし方を計画する。</p> <p>50 職場での旅行会やサークルの参加方法や厚生施設の計画的な利用方法を知る。</p>
<p>44 職場では，様々な情報機器が使われていることに関心をもつ。</p> <p>45 コピー機，電話，ファクシミリなど簡単な情報機器の扱いになれる。</p> <p>46 電話やファクシミリで，仕事に関する簡単な用件を伝えたり，受けたりする。</p>	<p>53 コピー機，ワープロ機，コンピュータなどの事務機器を取り扱う。</p> <p>54 コンピュータ制御の機械の簡単な入力を行う。</p> <p>55 電話で，仕事に関する用件を伝えたり，受けたりする。</p>	<p>51 コピー機，ワープロ機，コンピュータなどの事務機器の扱い方が分かり，事務作業をすすめる。</p> <p>52 コンピュータ制御の機械の入力や操作を行う。</p> <p>53 電話で，仕事に関する用件を正確に伝えたり，受けたりする。</p> <p>54 コピー機，ワープロ機，コンピュータなどの情報管理の方法を理解する。</p>

職業・家庭科 [家庭] , 家庭科

4	5	6
<p>家庭の役割</p> <p>1 家庭内における家族の役割を理解する。手伝える。</p> <p>2 家庭内における仕事の種類や分担が分かる。手伝える。</p> <p>3 家庭のだんらんに参加する。</p> <p>4 乳幼児や老人に優しく接し、世話の手伝いをする。</p>	<p>家庭の一員としての自己</p> <p>1 家庭の仕事を分担し、家族の一員としての役割を果す。</p> <p>2 家庭のだんらんを楽しむ。</p> <p>3 結婚の意味が分かる。</p> <p>4 妊娠、出産について理解する。</p> <p>5 グループホーム等、いろいろな生活形態を知り、理解する。</p> <p>6 冠婚葬祭について知る。</p>	<p>家庭の役割</p> <p>1 家庭の仕事を分担し、家族の一員としての役割を果す。</p> <p>2 家庭のだんらんに参加し、家族におもいやりの心をもつ。</p> <p>3 両性の合意等結婚の基本的事柄について理解する。</p> <p>4 いろいろな生活形態についての理解を深める。</p> <p>5 冠婚葬祭についての知識を深める。</p>
<p>家庭に関する基礎的な事項</p> <p>5 清潔な衣服を着る。</p> <p>6 自分で身なりを整え、簡単な日常着などの手入れをする。</p> <p>7 洗たく用具、洗剤の使い方などが分かる。</p> <p>8 簡単な日常着などを洗たくする。</p> <p>9 簡単なアイロンを掛ける。</p> <p>10 ボタンなどを付ける。</p> <p>11 布、針、糸を使って基礎縫いをする。</p> <p>12 ミシンの使い方が分かる。直線縫いをする。</p> <p>13 キットを使って、簡単な手芸作品を作る。</p> <p>14 簡単なしゅう染、染色、織物などを作る。</p> <p>15 簡単な食品名や料理の名前が分かる。</p> <p>16 栄養を考え、いろいろな食品を組み合わせて食べる。</p> <p>17 加工食品、半加工食品について知り、利用する。</p> <p>18 食品の変質について知り、保存の仕方が分かる。</p> <p>19 冷蔵庫の使い方を知る。</p> <p>20 食品、食器などの衛生に気をつける。</p> <p>21 主食、副菜などについて知る。</p> <p>22 献立に合わせ、必要な材料をとりそろえる。食品の洗い方、切り方が分かる。簡単な調理をする。</p> <p>23 主な調味料の使い方が分かる。</p> <p>24 調理用具などを安全に扱う。</p> <p>25 電気器具、ガス器具、石油器具などの扱いに慣れる。</p> <p>26 盛り付けや配せんをする。</p>	<p>消費と余暇</p> <p>7 生活時間を考え、時間の有効な使い方を工夫する。</p> <p>8 スポーツ、音楽、飼育・栽培などの趣味をもち、生活を楽しむ。</p> <p>9 親戚や友達の家を訪問したり、来客の応対をしたりする。</p> <p>10 予算を立てて、計画的に買い物をする。</p> <p>11 プリペイドカード、キャッシュカードなどの利用の仕方が分かる。必要に応じて利用する。</p> <p>12 レシート、領収書などの内容を読み取り、家計簿に記録する。</p> <p>13 卒業後の生活を支援してくれる人たちのことを知る。</p> <p>14 相談場所や緊急連絡先について知る。</p>	<p>6 余暇や休日、計画を立てて有効に過ごす。</p> <p>7 礼儀正しく訪問したり、来客の応対をしたりする。</p> <p>8 予算生活の必要性を理解し、計画的に預金・貯金をする。</p> <p>9 現金購入、分割購入の違いが分かる。</p> <p>10 物品の計画的購入の大切さを理解する。</p> <p>11 家計の収入、支出状況について知りたい。家庭の経済計画に協力する。人たちのつなかりを深める。</p> <p>12 卒業後の生活を支援してくれる人たちの相談場所や緊急連絡先について利用してみる。</p>
<p>家庭生活に関する事項</p> <p>15 すすんで清潔な衣服を着る。</p> <p>16 季節、温度、場所に応じて服装をする。</p> <p>17 衣類などの材料やよごれに応じた洗い方が分かる。洗たくする。</p> <p>18 布地の性質に合わせ、アイロン仕上げをする。</p> <p>19 まつり縫いや返し縫いができ、衣服のほつれなどを直す。</p> <p>20 ミシンを使って、簡単な小物や袋物などを縫う。</p> <p>21 型紙に合わせて裁断し、小物や袋物などを作る。</p> <p>22 栄養素及びその働きを知り、いろいろな食品</p>	<p>家庭生活に関する事項</p> <p>13 流行などを選びながら、自分の体にあった衣類などを選ぶ。</p> <p>14 必要に応じてクリーニング店を利用する。</p> <p>15 衣類などの整理や保管の仕方が分かる。</p> <p>16 一人で衣服の簡単な補修をする。</p> <p>17 寸法や型紙のとり方が分かる。簡単な衣服などの製作をする。</p> <p>18 手芸品を作り、日常の生活に生かす。</p> <p>19 一日に必要な食物の量や栄養が分かる。バランスの良い食事をする。</p> <p>20 添加物などに注意して、食品を選ぶ。</p> <p>21 食中毒について知り、食品衛生に注意する。</p>	<p>13 流行などを選びながら、自分の体にあった衣類などを選ぶ。</p> <p>14 必要に応じてクリーニング店を利用する。</p> <p>15 衣類などの整理や保管の仕方が分かる。</p> <p>16 一人で衣服の簡単な補修をする。</p> <p>17 寸法や型紙のとり方が分かる。簡単な衣服などの製作をする。</p> <p>18 手芸品を作り、日常の生活に生かす。</p> <p>19 一日に必要な食物の量や栄養が分かる。バランスの良い食事をする。</p> <p>20 添加物などに注意して、食品を選ぶ。</p> <p>21 食中毒について知り、食品衛生に注意する。</p>

27 食事の準備や後片付けをする。
 28 調理室の簡単な整理・整とんをする。
 29 写真や見本を見て、食事の注文をする。
 30 作法を守って楽しく食事をする。
 31 自分の持ち物を整理・整とんする。
 32 住まいの簡単な手入れや、室内の飾り付けなどの手伝いをする。
 33 部屋の換気、採光、照明の仕方を知り、調節する。
 34 照明器具、冷・暖房器具などを安全に取り扱う。
 35 清掃用具、掃除機などを使って住居を清潔にする。
 36 指示に従って、ごみを分別する。
 37 家庭内のいろいろな危険物を注意して取り扱う。
 38 掃除用の洗剤、殺虫剤などを安全に扱う。
 39 戸じまり、防火などの大切さを知り、事故の場合に人に知らせる。
 40 地震、台風、洪水などのときには、指示に従って行動する。

41 値段の高い安いを知り、上手な買い物をする。
 42 むだ使いをしないで預金・貯金をする。
 43 簡単な金銭収支を記録する。
 44 一日の生活に見通しをもち、予定を立てて生活する。
 45 テレビ、音楽、ゲームなどを、家族や友達と一緒に楽しむ。
 46 余暇や休日を楽しく過ごす。
 47 来客への対応や、親戚や友達の家への訪問の仕

を組み合わせて食べる。
 23 食品製造年月日、賞味期間などを見て、新鮮なものを選ぶ。
 24 冷蔵庫、冷凍庫を適切に使用する。
 25 衛生に気をつけ、洗剤、消毒剤などを適切に使う。
 26 日常よく使用されている食品を使って、簡単な献立をたてる。
 27 献立に合わせて、必要な材料の買い物をする。
 28 食品の洗い方、切り方、加熱の仕方、味の付け方が分かると調理する。
 29 献立にみあう調味料を適量使う。
 30 彩りや量を考え、適切な器に盛りつける。
 31 手順を考えながら、食事の準備や片づけをする。
 32 調理室の整理・整とんをし、清潔にする。
 33 献立表を見て、食事の注文をする。
 34 食堂、レストランでの食事の作法を知る。
 35 自分の持ち物を工夫して整理・整とんする。
 36 住まいの簡単な手入れや、室内の飾り付けを工夫する。
 37 部屋の換気、採光、照明の仕方を知り、健康な住まい方を工夫する。
 38 家庭内の整理・整とんや清掃などを行い、気持ちのよい住まい方を工夫する。
 39 決まりに従って、ごみを分別し、適切に処理する。
 40 家庭内のいろいろな危険物を注意して扱い、危険な場合は適切な処理をする。
 41 掃除用の洗剤、殺虫剤などの使用方法を知り、適切に扱う。
 42 戸じまり、防火などに注意し、事故の場合に適切な連絡をする。
 43 災害に対する日頃の備えや避難方法などが分かる。

44 調理用具の種類、用途を知り、適切に扱う。
 45 電気器具、ガス器具、石油器具などを適切に扱う。
 46 照明器具、冷・暖房器具などを適切に使う。

22 日常食の献立をたてる。
 23 値段や鮮度を考えて、材料を取りそろえる。
 24 食品の洗い方、切り方、加熱の仕方、味の付け方を工夫し、手順よく調理する。
 25 自分の好みに合わせて調味料を適切に使う。
 26 盛り付けや配ぜんを工夫し、手ぎわよくする。
 27 食事の準備や、後片付けを手順よくする。
 28 食堂やレストランで、自分で注文し、作法を守って楽しく食事する。
 29 生活の中で、ごみを減らす工夫をしたり、リサイクルしたりする。
 30 地震、台風、洪水などのときには、適切に行動する。

器具や器具
 31 ミシンの使い方になれ、いろいろなものを縫う。
 32 冷蔵庫、冷凍庫などを適切に使用し、食品の保存、管理をする。
 33 調理用具の手入れ、管理をする。
 34 電気器具、ガス器具、石油器具などの手入れ、管理をする。
 35 照明器具、冷・暖房器具などの手入れ・補修の仕方を知る。

<p>36 防犯ベル，火災報知器，消火器などの正しい取り扱い方を知る。</p>	<p>37 乳幼児や老人の簡単な世話や看護をする。</p>
<p>27 簡単な家庭常備薬と，家庭看護用品を使う。</p>	<p>保育や家庭看護</p>

外国語科

<p>4 英語への興味や関心</p> <p>1 外国のテレビ番組、映画、ニュースなどを見て、外国語や外国に関心をもち、見て楽しむ。ゲームをしたりして交流する。</p>	<p>5 会話</p> <p>1 外国のテレビ番組、映画、ニュースなどを見て、外国語や外国に関心をもち、見て楽しむ。外国の人々と交流し、簡単な英語などで答えようとする。</p> <p>2 英語の歌を歌ったり、簡単な英語を使ったゲームをしたりして楽しむ。</p> <p>3 日常の物品や身近なもの、写真、絵などを使って、簡単な英語でのやりとりに親しむ。</p> <p>4 家庭や学校などの日常生活場面にふさわしい単語や表現による表現を聞いたり、話そうとしたりする。</p> <p>5 地域や社会生活場面にふさわしい簡単な英語でのやりとりに楽しむ。</p>	<p>6 会話</p> <p>1 外国のテレビ番組、映画、テレビのニュースや新聞を見たりして、外国語や外国の文化などへの関心を深める。</p> <p>2 地域の外国人と積極的に交流し、簡単な会話をする。</p> <p>3 学校や家庭などの日常の生活場面にふさわしい表現で、簡単な会話をします。</p> <p>4 社会生活のさまざまな場面にふさわしい表現で、簡単な会話をします。</p> <p>5 適切な発音や文法に心をもち、積極的にコミュニケーションを行う。</p>
<p>英語の表現への興味や関心</p> <p>3 あいさつ、お礼の言葉、自分の名前を紹介するなど、簡単な英語の表現に興味や関心をもつ。</p> <p>4 パンフレットや新聞などの用品・機器などと一緒に使われているアルファベットや簡単な単語(色、動物、食器、文具、乗り物、数詞、曜日)に関心をもち、探す。</p> <p>5 やさしい英語のテレビ番組を見たり、英語の誕生日の歌を聞いて楽しんだり、アルファベットや簡単な英語の入ったゲームをしたりした楽しむ。</p> <p>6 コンピュータで文字当てゲームをしたりする。</p>	<p>6 読む・書く</p> <p>7 家庭や学校の日常生活の中でよく用いられる今日の目付、品物の数、活動を表す英語を読んだり、書いたりする。</p> <p>8 アルファベットの見分け方や簡単な語を聞き分けたり、文字の綴りを分けて同じものを探したり、文字をなぞったりして楽しむ。</p> <p>9 コンピュータのアルファベットキーに親しむ。語や句を打ち込んだり、印刷したりすることに親しむ。</p>	<p>読む・書く</p> <p>6 日常生活や社会生活の場面で用いられる簡単な語や句、文を読んだり書いたりする。</p> <p>7 外国の人に自分のことを紹介する簡単な手紙を書いたり、外国の生活の様子や簡単な物語を書いてある文章の形・綴りや符号の使い方に興味をもち、正しい文字の形・綴りや符号の使い方を確認する。</p> <p>8 コンピュータを使って、簡単な英語を書いたり印刷したり、インターネット等で送信したりする。</p>
<p>英語での表現</p> <p>7 英語であいさつをしたり、身近な物品の名称、簡単な動作を表す言葉を英語で話したり書いたりする。</p> <p>8 ゲームの中で使われるアルファベットや簡単な語の発音や綴りを聞いて親しむ。</p> <p>9 アルファベットや簡単な語の文字を書くことに興味をもち、なぞったりする。</p> <p>10 英語を題材にしたコンピュータのゲームなどを楽しむ。</p>	<p>読む・書く</p> <p>7 日常生活や社会生活の場面で用いられる簡単な語や句、文を読んだり書いたりする。</p> <p>8 外国の人に自分のことを紹介する簡単な手紙を書いたり、外国の生活の様子や簡単な物語を書いてある文章の形・綴りや符号の使い方に興味をもち、正しい文字の形・綴りや符号の使い方を確認する。</p> <p>9 コンピュータを使って、簡単な英語を書いたり印刷したり、インターネット等で送信したりする。</p>	<p>読む・書く</p> <p>6 日常生活や社会生活の場面で用いられる簡単な語や句、文を読んだり書いたりする。</p> <p>7 外国の人に自分のことを紹介する簡単な手紙を書いたり、外国の生活の様子や簡単な物語を書いてある文章の形・綴りや符号の使い方に興味をもち、正しい文字の形・綴りや符号の使い方を確認する。</p> <p>8 コンピュータを使って、簡単な英語を書いたり印刷したり、インターネット等で送信したりする。</p>

